



桃里の風

射水市立中太閤山小学校
学校だより第4号
令和8年7月16日発行
校長 堀 かおり
Email: nakataikoyama@imizu.ed.jp

「根を張る時期」を大切に

早いもので、1学期も終わりに近づいてきました。この3か月余りの子供たちの姿を見ながら、改めて感じるがあります。それは、子供の成長には「ぐんぐん伸びる時期」と「力を蓄える時期」があるということです。

竹は、成長の早い植物として知られています。真っすぐ空に向かって勢いよく伸びる姿は、とても力強く見えます。しかし、その竹も、いきなり大きく伸びるわけではありません。地面の下では長い時間をかけて根を広げ、しっかりと土に根付く準備をしています。そして、十分に力を蓄えた後に、一気に大きく成長していくのです。



子供たちも同じです。目に見えて成長を感じる時期もあれば、一方で、なかなか成果が見えず、保護者の皆様も本人も心配になる時期があるかもしれません。しかし、その時期は決して後退しているわけではありません。まさに竹が地中で根を広げているように、見えないところで力を蓄え、次の成長への準備をしているのです。学校では、一人一人の子供が自分らしく成長できるよう支援しています。目に見える成果だけでなく、「毎日続けること」や「当たり前のことを当たり前にやること」「失敗から学ぶこと」など、将来の大きな成長につながる根っこの部分を大切に育てていきたいと考えています。

まもなく夏休みを迎えますが、夏休みもまた、新しい経験や家族との時間を通して、子供たちがさらに豊かに根を張ることのできる貴重な期間です。ぜひ、この「根を張る時期」を大切にいただき、2学期に、さらに大きく伸びていく姿を楽しみにしていただければと思います。

なかたい小ちいき塾 パート22

7月13日(月)になかたい小ちいき塾パート22を行いました。今回は、カイロプラクターの武野健二さん(中太閤山在住)に講師を務めていただきました。「姿勢」について考えることをきっかけにして自分の身体を大切にする気持ちを育てようと、5・6年生を対象にお話をしてくださいました。

子供たちは、頭の重さが4kgもあるということ始めて知り、だから首には常に負荷がかかっているということにたいへん驚いていました。また、生活の中で猫背になってしまう場面がたくさんあることに気付き、良い姿勢を続けるためのタオル体操に、熱心に取り組んでいました。



【タオル体操を行う子供たち】

姿勢は、勉強や集中力等とも深く関係しています。またスポーツ技能の向上や、視力低下、見た目の若さという面からもたいへん重要だと思われます。ぜひ子供たちだけでなく、保護者世代の皆様も姿勢を意識されて、健康づくりをしていただけたらと思います。

各学年の活動の様子を紹介します

1年 タブレットの練習中

タブレットを使いはじめました。操作がどんどんスムーズになってきています。



2年 野菜の収穫

生活科で大切に育ててきた野菜が実り、収穫が始まっています。



3年 習字にチャレンジ

毛筆の学習をスタートさせました。墨をこぼさないように気を付けます。



4年 社会科見学(7/10)

クリーンピア射水に行き、私たちの出すゴミがどう処理されるのかを見してきました。



5年 宿泊学習(6/16～17)

砺波青少年自然の家で、仲間と力を合わせながら多くの体験をしました。



6年 歌声タイム(6/25)

タンゴのリズムをテーマに発表しました。なつかしい「ダンゴ三兄弟」も登場しました。



学校巡回公演（10月1日）に向けたワークショップ

7月15日(水)にダンスワークショップが行われました。10月1日(木)に文化庁巡回公演としてナチュラルダンスアトルさんによる舞台「ねむり姫～未来は変わる～」が本校で上演されます。この公演には、本校の卒業生である中川 賢(なかがわ さとし)さんが主演されるため、本校と小杉南中学校を会場に上演していただくことになりました。国内トップレベルの文化芸術団体による公演を見ることは、きっと子供たちの豊かな感性を育むことにつながると思います。

今回のワークショップは、その本公演に向けた準備で

す。子供たちは、一人一人水入りのペットボトルを1本ずつ持ち、ステップを踏んだり、ペットボトルを回したり、シェイクしたり、ときにはのぞいたりしながら、1曲分のダンスを教わりました。

プロの方々によるたいへん分かりやすいお手本と、スモールステップでの指導のおかげで、あっという間に振りを覚えた子供たち。たいへん暑い中でしたが、終始笑顔でワークショップを終えることができました。10月の本公演がたいへん楽しみです。



【ペットボトルを持って踊る子供たち】